

産業用巻尺を始め

「計る」ニーズに応え続ける

- 海外発注可
- 期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 量対応



ものを計る専門機器が揃う

業務内容

度量衡関連製品を扱う
老舗の専門メーカー

ホワイトスチール・スチール・ステンレスといった鋼製の巻尺と関連製品の製造・販売を行う日本度器。大正10年の設立以来、「計る」に関するさまざまな製品を開発し続けてきた。同社の主力は産業用等のプロユースだ。燃料タンク等、容器の底からの液量を測る巻尺「タンクスケール」と、被測定物の直径を読み取る「パイメーター」「ダイヤメーターテープ」を国内で生産するのは同社のみ。平成19年からはグラスファイバー製巻尺事業も開始した他、OEM生産や、自社ブランド「NDオートメジャー」の製造も開始している。

強み

細部に気を配った商品で
海外製品との差別化を

「我が社の強みは、深掘り」とネットワークです」と話す藤田社長。深掘りとはまさに、巻尺一筋で突き進んできた同社の歴史を表す言葉だ。安価な大量生産品とは一線を画し、特殊用途の小ロット受注生産を長年にわたって続けることで信頼を積み重ねてきた。

近年では印刷以外にも、手彫りによる彫刻目盛加工技術を確認。顧客のニーズに応じた特殊目盛品の生産が可能となった。要望をとらえ、細かな部分に「気を利かせる」ことで海外製品との差別化を図っている。また他業種を含め国内外に広いネットワークを有し、新製品を短期間で開発できる体制を整えているのも強みとなっている。

社内制度

新商品開発のために
社内の意見を積極的に採用

「企業としての存在意義を高めるために、巻尺のさらなる用途開発が必要だと感じています」という藤田社長の言葉通り、そのための社内制度づくりが着々と進められている。

平成24年4月からは社内提案制度を開始。商品の新アイデアや工程改善等、すでに月2〜3件のペースで正社員・パートから提案が寄せられているそうだ。

今後の展望

海外への進出も視野に
業容拡大を目指す

長期的展望としては、鋼製・繊維製巻尺の特注品受注に力を入れていきたい同社。

「計りたいのに計れない、そんなものがあれば、何でもご相談いただきたいですね」と藤田社長は話す。困難を可能にしたり、さらなる付加価値を追求していくことによって、安い海外製品との住み分けを図る構えだ。

一方で製品売り上げの海外比率向上も視野に入れ、海外での二次加工拠点の設置も検討しているという。

同社の会社理念は「計る」を通じて社会に貢献し、夢の実現に寄与する。本

当に必要とされる巻尺をつくるため、全社が一丸となつて努力を続けている。



本社は青と黄のポップな外観

COMPANY PROFILE

日本度器株式会社

大阪24

当社の歴史

当社の社章は、3つの円が中央で重なり合っています。円はそれぞれ、株主・経営者・従業員、あるいは仕入先・自社・販売先のこと。3者がお互いに主張すべき点を主張し、相手を理解し合って物事を進めて行くという決意を表しているのです。風通しの良い環境の中で自由な発想を持った人材を育成し、今までにないアイデアで「巻尺」の用途を広げていきたいですね。

「できない」とは絶対に言わない。懸命に努力することが革新につながるから。

代表取締役 藤田 真弘さん



■主な事業内容

鋼製・繊維製巻尺、直径測定用テープの製造、度量衡製品全般の卸売、Web通販サイト運営等

■主な取引先(納入先)

測定機器販売商社、スポーツ用品メーカー、海運・造船関連商社等

住所 / 〒590-0535
泉南市りんくう
南浜2-6
TEL / 072-480-4101
FAX / 072-480-4112
創業 / 大正10年1月
設立 / 大正10年1月
資本金 / 1,000万円
従業員 / 21名

<http://www.nihondoki.co.jp/>